

特色と構成

このテキストは読解演習編と記述力養成編で構成されています。

読解演習編は、説明文・論説文3講座と随筆2講座、小説3講座を取り上げています。各講座とも基本問題と練習問題の構成になっており、記述で答える形式の問題に数多く取り組むことによって読解力、記述力を養成します。

記述力養成編は作文講座です。さまざまな課題で実際に文章を書くことによって、記述力、表現力を養成します。また書いた文章の添削も受けられます。

記述問題に集中して取り組み、作文を書くことによって、国語のしっかりとした実力を身につけてください。

目次

△読解演習編▽	
1	説明文・論説文(1).....2
2	説明文・論説文(2).....6
3	説明文・論説文(3).....10
4	随筆(1).....14
5	随筆(2).....18
6	小説(1).....22
7	小説(2).....26
8	小説(3).....30
△記述力養成編▽	
1	随筆を書こう.....34
2	読書感想文を書こう.....35
3	説明文を書こう.....36
4	意見文を書こう.....37
5	スピーチ文を書こう.....38
6	計画・企画表を書こう.....39
7	資料を読みとる.....40

1

説明文・論説文
(1)

「基本問題」
次の文章を読んで、
あとの問いに答えなさい。

本文

本文

問一〔話題〕 この文章は、前半と後半で一つずつ、二つの問題について説明しています。それぞれの問題を提起している一文を文章中から探し、初めの五字を抜き出しなさい。

前半	後半

問二〔指示内容〕 —線①「こんなとき」とは、どのようなときですか。文章中の言葉を使って、「……とき。」の形で、十五字前後で書きなさい。

_____とき。

問三〔段落関係〕 ③・④・⑤段落の関係を説明したものとして最も適当なものを選びなさい。

ア ③・④段落で述べた内容を受けて、⑤段落ではその具体例を挙げて説明している。

イ ⑤段落では、③・④段落で述べた内容と対立する内容を述べて、新しい論を展開している。

ウ ③段落で述べた内容を受けて、④・⑤段落ではその具体例を挙げて説明している。

エ ⑤段落では、③・④段落で述べた内容を、具体例をまじえてわかりやすくまとめている。

問四〔文脈〕 _____にあてはまる言葉を、①～④段落の中から漢字二字で抜き出しなさい。

問五〔要点〕 —線②「音のたかまりを利用して感情のたかまりを表現することを知り」とありますが、なぜそのような表現方法を知ることができたのですか。その理由を「声」、「高低」、「リズム」という言葉を使って書きなさい。

問六〔要旨〕 筆者は、音楽とはどのようなものだと言っていますか。「……芸術形式。」という形で⑥段落の文章中の言葉を使って書きなさい。

_____芸術形式。

練習問題

次の文章を読んで、
あとの問いに答えなさい。

本文

本文

3

説明文を書こう

※添削を受ける場合は、専用の原稿用紙をホームページからダウンロードして使用してください。

◆学校ではやっている遊びについて、説明する文章を、内容によって段落を分けて、二百字以内で書きましょう。

作文を書く準備をし、原稿用紙に作文を清書しましょう。

【作文を書く準備】

1 テーマ（課題）に沿った出来事や体験したこと、思いついたことや、知っていることなどを、メモ形式で書き出してみましょう。

2 1の中から具体的なことが書けそうなものを選び、その時の状況や感じたこと、自分の意見やその理由などを文章にまとめてみましょう。

3

3 (パターンA)2の中から、ある程度の字数が書けているものを選び、内容を見直し、より深い文章にまとめてみましょう。

3 (パターンB)2で書いたことを組み合わせながらのある文章にまとめてみましょう。つながりそうな文章を選び、字数制限に注意して文章を直し、ひとつの文章にまとめてみましょう。

4 「書き出しの文章」と「まとめの文章」を考えてみましょう。(「まとめの文章」を先につくると「書き出しの文章」が簡単にできる場合があります。)

〔書き出しの文章〕	〔まとめの文章〕
-----------	----------

5 原稿用紙に清書しましょう。

解答と解説

MJ-FOCUS

中2国語

△読解演習編▽

1 説明文・論説文(1)

△2～5ページ▽

【基本問題】 問一前半 人間はその 後半 では音をど 問二(例) 本当に楽しいと感じているとき。 問三ウ 問四文学 問五(例) 感情と声の高低や強弱との関係、また感情とリズムの変化との関係などについて自然の法則を知っていたから。 問六(例) 心情を音で表現しようとする人間の意志が生み出した芸術形式。

解説

解説

【練習問題】 問一⑤ 問二Aエ Bウ 問三(例) (居眠り事故の) 事故件数が早朝に特別多いが、午後二時前後にも、小さいながらピークがあるという傾向。 問四ア 問五(例) 夜のほか、昼過ぎに眠くなるという状態が出現する睡眠プログラム。 問六(例) 人が温帯や亜極地にすみ始めてからの時間。 問七熱帯環境で進化した 問八(1) (例) 集団の社会構造を強める時間。(2) (例) 天敵に襲われる危険性が少ないから。 問九(例) 昼寝は自然に起こるといふ筆者の話聞いて、学生は自分の居眠りを正当化できると思うにちがいないから。

解説

解説
